

浜松市デジタル・スマートシティ構想（案） パブリック・コメントに対する市の考え方

<主な意見>

●【用語の解説に関する意見】(P. 31-32)

専門用語が多く内容が伝わりづらい、本文中の用語の付近に解説を記載してほしいとの意見

【市の考え方】案の修正

可能な限り①用語の直後に（）書きで説明を記載、②本文中の用語の付近に説明を記載し、「Ⅵ 用語の説明」に掲載する用語を最少限にした。

●【多様性／包摂性に関する意見】(P. 8-9)

デジタル化により格差が生じ取り残されることへの危惧、高齢者に配慮した取組を希望する意見

【市の考え方】今後の参考

市民の方にデジタル化を強いるのではなく、デジタル活用を市民 QoL（生活の質）向上や地域課題解決の「手段」と捉え、多様で包摂的な社会を目指した取組を推進していく。

高齢者等に対しては、来年度から官民連携プラットフォームの会員企業と連携し、「スマートフォン講座」の開催を予定している。

●【個人情報、プライバシーに関する意見】(P. 9-11)

個人情報の管理に対する懸念、プライバシー保護の徹底を希望する意見

【市の考え方】今後の参考

個人情報の利用にあたっては、本人の同意を得ることが大前提とし、透明性の確保や個人情報・プライバシーの保護に配慮して取り組んでいく。

また、市保有の個人情報については、浜松市個人情報保護条例に基づき対応していく。

●【通信環境整備に関する意見】(P. 30)

公共施設や中山間地域の通信環境整備を希望する意見

【市の考え方】今後の参考

ウィズコロナ、ポストコロナにおける市民団体等の活動環境を整えるため、地域住民にとって身近な施設である協働センターや核となる音楽ホールへのインターネット環境の整備を検討していく。また、光ファイバ網の未整備地域において民間事業者の整備に対し、支援を行っていく。

●【市民との共創に関する意見】(P. 35)

市民への情報提供や、市民の声を反映する機会を希望する意見

【市の考え方】今後の参考

出前講座の実施や、個別のプロジェクトを進めていく中で、市民の方への説明を丁寧にするとともに意見を伺いながら取組を推進していく。

●【スーパーシティと関連する意見】(P. 36-37)

スーパーシティにおける情報管理について問う意見

【市の考え方】その他

スーパーシティにおいても、個人情報は、個人情報保護法や浜松市個人情報保護条例に基づき、適切に取り扱っていく。

浜松市デジタル・スマートシティ構想(案) に対するご意見ありがとうございました

市民の皆さんからの提出意見と
その意見に対する市の考え方の公表



令和3年1月25日から2月24日にかけて実施しました浜松市デジタル・スマートシティ構想(案)に対する意見募集(パブリック・コメントの実施)に貴重なご意見をいただきましてありがとうございました。

意見募集を行った結果、市民等71人・6団体から210件のご意見が寄せられましたので、それらのご意見とご意見に対する市の考え方を公表いたします。

ご意見につきましては、項目ごとに整理し、適宜要約し掲載しております。

また、お寄せいただきましたご意見を考慮して、「浜松市デジタル・スマートシティ構想」を策定し、令和3年4月からの実施を予定しています。今後とも、デジタル・スマートシティの推進に対するご理解とご協力をお願いいたします。

なお、この内容は、市ホームページ(<https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp>)にも掲載しております。

令和3年3月

浜松市デジタル・スマートシティ推進事業本部

〒430-0929 浜松市中区中央1-12-7

TEL 053-457-2454

Eメールアドレス

dsc@city.hamamatsu.shizuoka.jp

募集結果

【実施時期】	令和3年1月25日から令和3年2月24日		
【意見提出者数】	71人・6団体		
【提出方法】	持参(0) 郵便(24) 電子メール(102) FAX(30) 説明会等(54)		
【意見数内訳】	210件 (提案 4件、要望 149件、質問 57件)		
【案に対する反映度】	案の修正	13件	今後の参考 107件
	盛り込み済	12件	その他 78件

目次

I	構想策定の背景 (意見数 2件)	2 ページ
II	構想策定の趣旨/構想の位置づけ (意見数 0件)	2 ページ
III	将来像/目指す方向性 (基本理念) /必要な視点/基本原則 (意見数 0件)	2 ページ
III-1	将来像: デジタルで“繋がる未来”の概観 (意見数 15件)	2 ページ
III-2	取組推進に必要な視点 (意見数 3件)	5 ページ
III-3	基本原則 (意見数 50件)	6 ページ
IV	推進体制とエコシステム/ロードマップ (意見数 2件)	15 ページ
V	第一期 (2020年度~2024年度) における重点分野の設定 (意見数 8件)	15 ページ
V-1	重点分野【第一期: 2020年度~2024年度】 (意見数 6件)	17 ページ
V-2	重点分野【第一期: 2020年度~2024年度】 (意見数 30件)	19 ページ
V-3	重点分野【第一期: 2020年度~2024年度】 (意見数 9件)	26 ページ
V-4	重点分野と推進基盤構築【第一期: 2020年度~2024年度】 (意見数 17件)	27 ページ
VI	用語の説明 (意見数 11件)	31 ページ
	その他 (意見数 57件)	32 ページ

I 構想策定の背景（2件）

質問 1	構想が打ち出された背景を教えてください。
-----------------	----------------------

【市の考え方】その他

令和元年10月に行った「浜松市デジタルファースト宣言」に基づき、都市づくりをデジタルファーストで進める政策の指針として、多くの方々と共有し、官民共創で“デジタル・スマートシティ浜松”の実現を目指すために本構想を策定しました。

質問 2	まちづくりや都市経営に新たな視点と変革とあるが、新たな視点とはどのような内容のものか具体的な見当はついているか。
-----------------	--

【市の考え方】その他

先端技術や様々なデータを活用し、官民連携で地域課題の解決や、よりよい暮らしの実現を目指す「デジタル・スマートシティ」の取組が、新たな視点の取組と認識しております。

II 構想策定の趣旨／構想の位置づけ（0件）

III 将来像／目指す方向性（基本理念）／必要な視点／基本原則（0件）

III-1 将来像：デジタルで“繋がる未来”の概観（15件）

要望 1	遠隔診療ではなく、こんな時代だからこそマンパワーが大事なのではないか。コロナ禍で分かったことは、保健所や病院の存在である。この間沢山の統廃合で各市町村に無くなってしまってきていることが問題ではないか。 医療従事者も大切である。リモート診療ではなく、手厚く看護してもらえようがずっとよい。
-----------------	--

【市の考え方】今後の参考

今後のデジタル・スマートシティ推進に向けて、ご意見として承ります。

質問 3	「免許を返納してもライドシェアや自動運転でどこへでも移動」とあり、昨年11月21日～24日にかけて水窪で中山間地域における自動運転実証実験が行われている。その実験結果と今後の見通しや可能性について教えていただきたい。
-----------------	--

【市の考え方】その他

令和2年11月21日から24日までの4日間、天竜区水窪町で実証実験が行われ、地元住民等約120名が試乗し、中山間地域における超小型モビリティの自動運転車の実用性を確認できました。

本実証実験の実施事業者は、フィードバックを受け、自動運転技術の改良に加え、運行を担う地域交通事業者等を含めた体制での次のステージの実証実験を計画（実施時期・地域等は未定）しており、技術的な改善や自動運転サービス運行主体の選定、収益モデル等の検討を重ねていく予定です。

要望 2	<p>農林業にドローンを使用し農薬や肥料を散布すること、とそれらの法律の規制緩和についてスーパーシティ法を摘要することについて、浜松市では、農薬の空中散布による健康被害の深刻さを行政が理解している。また、スーパーシティ法による「航空法、農薬取締法」の規制を緩和することは 農薬による大気汚染や水の枯渇など、市民に多大なるリスクを負わせることになるため、市がスーパーシティ法に応募することは止めてほしい。行政が「官民連携」を旗印にドローン使用をするとすると、必ず市民の中にドローンという飛行体に対する「危険性へのゆるみ」が現れるため、事故が起きた時の責任問題などの行政リスクが増大する。また、「儲かる農林業」という表現は、「持続可能な」が適切である。</p>
-----------------	--

【市の考え方】 その他

ご意見として承ります。

質問 4	<p>ドローンや無人走行の車はだれが保有し、事故の責任はだれがどうとるのか。また、自家用有償旅客運送等の場合も事故の責任はだれがどうとるのか。はっきりさせるべきである。</p>
質問 5	<p>どこにいてもドローンで好きなもの・サービスが届くとあるが、事故が起きた場合の責任はどうか。</p>

【市の考え方】 その他

ドローンや自動運転、自家用有償旅客運送等における事故の責任については、自動運転レベルやシステム不具合の有無など、様々な要因で差異が生じます。実際の運行の際には、そうした責任の所在が明らかとなるように、ルールを整備する必要があると認識しております。

質問 6	<p>「どこにいてもドローンで好きなもの・サービスがいつでも届く」など、ドローンやロボットの活用と書かれているが、中山間地域では GPS による正しい位置情報の特定が難しいエリアがある。ドローンの活用を考えた場合、これらの問題はどのように解決するのか。</p>
-----------------	--

【市の考え方】 その他

エリアごとの状況により最適な解決手段を総合的に検討し、進めてまいります。

要望 3	<p>コロナ前の夢のようなシナリオ、「どこにいてもドローンで好きなもの・サービスがいつでも届く。」という表現は削除してほしい。気象が激甚化して風当たりが強い気候がますますひどくなるため、ドローンによる事故・事件が予想される。浜松市民として恥ずかしい。コロナ前から、医療関係者からは「感染症対策の遅れに警鐘」が鳴らされていたと思う。浜松市民は、温暖化危機、脱炭素が叫ばれる今、高校生も行動を起こすほど意識が高いため、「自由にどこへでも移動」も現実味がない。</p>
-----------------	---

【市の考え方】 その他

ご意見として承ります。

要望 4	ドローンが飛んでいると、子どもが不安になったり、健康被害があるのではと感じた。
-----------------	---

【市の考え方】その他

ご意見として承ります。

要望 5	<p>「スマホ一台で簡単手続き」とあるが、スマホは電磁波の健康被害が怖いし、機能も使わないため、なるべく使いたくない。フィッシング詐欺など昨年だけで、県内 50 件も「決済サービス」の被害があり、警察官や行政を装う「偽サイト」の被害もますます深刻化している。「官民連携」でそのような被害が起きた時、補償は出るのか。</p> <p>AI で未来を予想しアドバイスしてくれたり、「AI コンシェルジュが対応」と表現があるが、そんなに市役所の職員を減らしたらコミュニケーションを図れず、「市民への福祉などサービスを低下します」と言っているのに等しい。「行きたい人だけが使用する空港」ならば、コンシェルジュという表現もありかもしれないが、全ての市民に対して公共性を目指す行政が使用する表現ではないと思う。</p>
-----------------	--

【市の考え方】その他

利便性向上のため行政手続きのオンライン化を進める一方で、スマートフォンをお持ちでない方には、従来通り窓口での手続きも対応してまいります。

デジタルは、人々の社会活動や都市運営をサポートする「ツール」として活用してまいります。そのため、全てをデジタルに移行するのではなく、アナログとデジタルのそれぞれの良さを生かし、取組を進めてまいります。

質問 7	「スマホ一台でどこでもいつでも簡単手続き」とあるが、浜松市の高齢者のスマホ使用率（所有率）を教えてください。もし調査していないのであれば、どうして調査していないのかも教えてください。
-----------------	---

【市の考え方】その他

総務省調査「令和元年通信利用動向調査」では、60 代のスマホ所有率は 64.7%、70 代が 33.8%となっております。また、本市においては、令和 2 年度に実施した「第 47 回市民アンケート調査」において、60 代が 73.3%、70 代以上が 38.9%となっております。

要望 6	高齢者のスマホ使用率（所有率）は高くない事が予想される。東京都の渋谷区が実証実験を始めたように、スマホの無償貸与も検討すべきではないか。
-----------------	--

【市の考え方】今後の参考

今後のデジタル・スマートシティ推進に向けて、ご意見として承ります。

要望 7	デジタル化は必ず負の部分があると思っている。人と人がつながるとい言葉が資料に出てくるが、リモートでのつながりは万能ではない。人は五感を通して感じているものがあると思うため、その点を大事にしてほしい
要望 8	デジタルを「利用」するのは人。「人」対「人」のつながりなどが全く大切にされていないような印象を受ける。そもそもコロナで人とのつながりの大切さを認識したのでは？
要望 9	人は他者と「絆」を持ちつながることで幸福を得られると考えている。そうした基本に対し、デジタル・スマートシティはどう貢献すべきか。どう活用できるのか。
要望 10	人や自然に触れ合う体験やぬくもりを感じる機会がなくなってしまうことの寂しさや、デジタル化についていけない寂しさを感じる方のことも考えて、慎重に進めてほしい。

【市の考え方】 今後の参考

デジタルは、人々の社会活動や都市運営をサポートする「ツール」として活用してまいります。全てをデジタルに移行するのではなく、対面が困難な場合のリモートによる面会など、アナログとデジタルのそれぞれの良さを生かし、人と人の繋がりを支えてまいります。

Ⅲ－２ 取組推進に必要な視点（３件）

質問 8	市民起点とはどういう意味か。
---------	----------------

【市の考え方】 その他

市民の立場に立ち、生活の質の向上や地域課題の解決を第一に考えることを、「市民起点」という言葉で表しています。

要望 11	感染症の最前線で頑張っている医療従事者は、エッセンシャルワーカーである。医療従事者・介護関係者がデジタル化の恩恵を受ける構想あってほしい。
----------	---

【市の考え方】 今後の参考

取組推進に必要な視点にありますように、“市民起点”でデジタルを活用し、市民の皆様の生活の質の向上や地域の課題解決を図ってまいります。

要望 12	『アジャイル型街づくり』には賛成するが、開発サイクルのイレーション毎に、第三者の評価チェックを入れる必要がある。また、同じ開発チームメンバーでは、『スコトーマ』に陥る不安が有り、イレーション毎に、一部のチームメンバーをクロスする必要がある。 メンバーには、商工会議所の経済界・農林水産業界、教育関係者、警察関係者等の各分野の参加を呼びかけ、市民感覚を大切に取り入れる為、不特定の市民の参加も呼びかける必要がある。
------------------	---

【市の考え方】 今後の参考

今後のデジタル・スマートシティ推進に向けて、ご意見として承ります。

Ⅲ－３ 基本原則（５０件）

要望 13	現在オープンデータとして示されているものは、福祉・医療、子育てなどの分野では施設の一覧表ばかりである。NPO としても多くの審議会や委員会の参考資料をひっくり返して、社会問題に関わる課題を見つけている状態であり、イノベーションという言葉に対応できるレベルのデータ開示をお願いしたい。
------------------	---

【市の考え方】 盛り込み済

市が保有する公開情報は機械判読可能な形式で公開していく予定です。また、現在 PDF 形式で公開されている報告書内のデータについても、二次利用可能な形式でオープンデータ化していくことを、庁内に広く周知してまいります。

要望 14	既に第一期が始まっていて、「トライ&エラーを繰り返し、社会実践へと繋げる」と謳っているが、市が行っている関連事業や実証実験についての情報を速やかにわかりやすい形で公表すべきだと思う。
要望 15	この構想が今後どう進められていくのか、進み具合、利点や活用法、課題なども市民に分かりやすく情報公開していただきたい。

【市の考え方】 今後の参考

市が実施している実証実験や各種プロジェクト等につきましては、その結果等について、市民の皆様に分かりやすくお伝えできるよう検討してまいります。

要望 16	<p>浜松ウエルネスプロジェクトや春野町の医療 MaaS プロジェクトが成功することを期待している。その中で、このプロジェクトをはじめとする色々な構想が浜松市民に成果が広くわかるようにしていく仕組みを検討していただきたい。</p> <p>危惧しているのは、住民にどのような最終的メリットがあるのかというところが置き去りになってしまっていないかという点である。浜松医科大学、聖隷福祉事業団 の2組織を中心に、上手に市役所がコーディネーターとして行政、企業、学校、地域の連携をしていただきたい。</p>
------------------	---

【市の考え方】 今後の参考

今後のデジタル・スマートシティ推進に向けて、ご意見として承ります。なお、浜松ウエルネスプロジェクトで実施している実証事業については、浜松医科大学や聖隷福祉事業団など医療機関との連携のもと進めているところです。実証事業や各種プロジェクト等の結果等については、市民の皆様に分かりやすくお伝えできるよう検討してまいります。

提案 1	<p>「GitHub」という言葉は、「GitHub」限定でなく GitHub 社の git ホスティングサービスのみ限定しないように「GitHub など」に変えてはどうか。</p>
-----------------	--

【市の考え方】 案の修正

提案内容を踏まえ、次のとおり文章を修正します。

《修正内容》 P7 「1 オープン／相互運用性」の文章を修正

(修正前)

GitHub 上でのオープンな開発

(修正後)

GitHub 等を活用したオープンな開発

要望 17	<p>構想について、区ごとに多くの市民が参加できるワークショップを開催して、老若男女問わず多くの市民がオープンに参加が出来、自由に討議が出来て、『デジタル・スマートシティ構想』の理解を深めて纏めていくことが大切である。</p> <p>討議では、筋書きがあり着地点や答えが決まっているおざなりな討議は絶対に避け、結論を急がないで、市役所はバックステージにしながら討議の雰囲気づくりをすることが大切である。</p>
------------------	---

【市の考え方】 今後の参考

今後のデジタル・スマートシティ推進に向けて、ご意見として承ります。令和3年度から、デジタル・スマートシティに関する出前講座を実施し、構想や取組について市民の皆様にご説明したり、ご意見を伺いながら進めてまいります。

質問 9	スマホ、PC などを持たない「デジタル弱者」はデジタル・ディバイド(情報格差)が生まれ世代間格差が発生し取り残されてしまうのではないか。講座等も必要と思われるが、機器を手にする出来ない人達の事を踏まえた構想はあるか。
質問 10	デジタル技術は使える人と使えない人のギャップが激しい。危険性を感じ、安全性に疑問を感じている方もいるし、スマホ、そもそもガラケーを持っていない人もいる。デジタルに対する不安、苦手意識は根強く、銀行もいまだに ATM 使わない方もいる。苦手意識の克服や、フォローアップはかなり壁が高いと感じている。そこをどうしていくのか。
要望 18	今回のデジタル・スマートシティ構想によって、スマホやパソコンを使っていない人が置いてきぼりにならないようにする事が自治体の役目ではないか。誰もが理解出来、利用出来るようにするための施策を具体的に挙げてほしい。
質問 11	全ての市民が、ネット環境が整っているわけではない。持っていない、住環境が整っていない、興味がない、持つための資金がない、知識がなく教えてもらえない等の人に対して、どのようにフォローするのか。
質問 12	高齢者はスマホを使えない人が多い。型にはめようとする苦痛になるのでは。そうでなくてもフォローに余計に手間になるのでは。
要望 19	デジタル時代に様々な活用で生活を便利にすること自体は賛成だが、それを活用できる人、できない人の格差を生まない配慮をしてほしい。特に、高齢者や障害者はデジタル活用を最も必要とする人たちでもあるが、活用に至るまでのソフト、ハードのハードルが高い。必要な機器を手に入れ、使えるようになるためのサポートについては、行政から企業に働きかけるなど、積極的な支援が必要と考える。
要望 20	一見するとデジタルによってすごくよくなるイメージが浮かぶが、実際には人の営みはとても複雑で一人ひとりの違いも大きいと思う。すべてがデジタルデータで判断されていくことへの不安を感じた
要望 21	デジタルには、柔軟性に期待したい。「本人がどう生きたいか」という文脈も考慮して、提案を作るようなシステムができないか。
要望 22	今後デジタル社会になる流れは止めようがない。しかし、デジタル格差で取り残されるような市民が出ることをないようにしてもらいたい。市長や市職員が分かっているのだという不遜な対応だけはしてほしくない。
要望 23	市民生活はデジタルばかりで解決しないと思っている。各地域の生活状況を足で集め、肌で感じ取り、全身で吸収してもらいたい。そして、地域住民と対話を重ね、本当の生活実感や窮状を市政改善に繋げてもらいたい。
要望 24	デジタル機器を有していない、または機器の所作や事業のシステムについて理解できない「デジタル難民」の存在と、その市民の市民的権利の保証について示されるべきである。

要望 25	デジタル機器を使えない市民に対するサービスや権利保障をどう保持するか明らかにすべき（浜松市でもスマホを使えない市民に対し、明らかに公平性を欠く施策がとられている）。
------------------	--

【市の考え方】 今後の参考

本構想では、「デジタル活用」はあくまで市民 QoL（生活の質）向上や地域課題解決の「手段」と捉えており、デジタル化を市民の皆様が強いるものではありません。多様性や包摂性の基本原則のもとで、多様で包摂的な社会を目指してまいります。

また、今後、シニア向けスマートフォン講座等を開催していく中で、端末を持っていない人や持っても操作が分からない人への支援も行ってまいります。

質問 13	地域格差、年齢格差への配慮を教えてください。
------------------	------------------------

【市の考え方】 その他

市内の地域ごとに特徴のある課題の解決手段として、デジタル技術を活用してまいります。また、全ての年齢の方が暮らしやすい社会となるよう、デジタルとアナログを組み合わせながら取組を推進してまいります。

今年度は、中山間地域の高齢者と医療が繋がる遠隔診療などの実証実験を行いました。今後も、各地域や高齢者の方を支えるデジタル活用を推進してまいります。

質問 14	「デジタルで高齢者、障がい者、外国人、女性をはじめ」とあるが、あえて女性をここに明記して理由を教えてください。デジタル化において女性がなんらかのハンディキャップを負っているという事か。
------------------	--

【市の考え方】 その他

デジタル化におけるハンディキャップではなく、デジタルを活用し、女性を含めた様々な方の活動をサポートし、社会参加等を促進するということです。

要望 26	アナログ情報およびデジタル情報の管理や取扱は、慎重に行ってほしい。
------------------	-----------------------------------

【市の考え方】 今後の参考

デジタル・スマートシティの推進にあたっては、個人情報やセキュリティに配慮し、情報の管理を慎重かつ適切に行ってまいります。

要望 27	個人情報の管理等に対して心配する声が聞かれるが、情報が一括で管理・処理されることへの不安や、監視社会になるのでは、という懸念がある。
要望 28	個人情報等の安全安心は守ると、線引きは絶対に必要である。『デジタル社会思想』の初期準備が大切である。市民の安全安心を最優先に、何時でもブレーキを踏める、慎重な安全運転をしてほしい。

要望 29	個人の情報が市職員だけでなくデータを扱う企業にも伝わるとなるとプライバシーは守られるのか、都合のいいように利用されないかとても心配になった。
要望 30	個人情報をも本人に許可なく企業に渡すのは許されないと思う。また、国でもサイバー攻撃でデータが流出したり、マイナンバーのデータが流出しており、政策がなされていないのが怖い。
質問 15	スマートシティにした場合に、大きな個人情報を民間企業が集める事ができ、その情報を関連企業に提供できると書いてあるが、どの様な場合に提供することができるのか。
要望 31	官民連携プラットフォームに提供される自治体保有の個人情報がどの種類のものなのか、残らず列挙されなければならない。また、提供にあたって個人の同意を前提にしなければならない。
質問 16	市民情報が中央政府に直結してしまう心配があるが、どう考えるか
要望 32	ニュースで中国の杭州市の超監視社会の様子を聞いたり、カナダのトロントでは「我々はGoogleの実験用マウスではない」と住民が反対し、企業が撤退した話を聞いたりした。個人情報は勝手に利用されたり、監視されたりしたくないと思った。
要望 33	<p>浜松市が進める「デジタル・スマートシティ構想」についてはとても疑問に思う。プライバシーを保護したにも関わらず、個人情報の漏洩が繰り返されている中で、大きなデジタル社会を作ろうとしていることに大変不安を感じる。</p> <p>それは人間のための未来社会なのか？ 個人情報の保護はどうなるのか？ 本人の同意無くして他に提供されることはないのか？ あってはならないことが起きる可能性はないのか？ 個人がデジタルにがんじがらめにされるようなことはないか？</p> <p>浜松市という公的な機関が事業に参加する企業を競争させて、私たちの個人情報や人間の基本的な人権やささやかな幸せを奪い取る仕組みに見えてしかたがない。もっと時間をかけて納得できるものにしてほしい。</p>
要望 34	民間主導といわれるデータ連携基盤の運用で、市の保有する市民の個人情報が民間企業にも提供されるのか。提供されるとすれば、特区指定されなくてもできることなのか。提供を拒否する市民の個人情報は保護されるのか、はっきりすべきである。

【市の考え方】今後の参考

個人情報の利用にあたっては、本人の同意を得ることが大前提となります。透明性の確保や個人情報・プライバシーの保護に配慮して取り組んでいきます。

また、本市保有の個人情報については、浜松市個人情報保護条例に基づく対応をしてまいります。

要望	浜松市オリジナルの「未来」を、明るく描いており、多くの具体的な企画、アイデアは確かに良いと思う一方、データ等の、個人情報の保護
----	---

35	の問題が心配である。シンポジウムでいわれていた「面倒な事抜きで、すぐにできる」ことが良いのか、疑問である。それぞれの法律や制度にはそれだけの理由があるはずで、不要であれば元々そうになっていると思う。デジタル化を進め、管理、監視しやすい社会にならないか心配である。
-----------	---

【市の考え方】 今後の参考

スーパーシティでは、国において設置される国家戦略特区諮問会議において、内容や規制改革案が一括的・包括的に審議されますが、その他の国家戦略特区では、事業や規制緩和案件について、各省庁と個別に調整することとなります。シンポジウムにおける片山参議院議員のご説明は、この制度の説明をされたものと認識しております。

要望 36	セキュリティは破られることを常に考慮し、維持管理の為の専門部署(組織構築)は必ず設置していただきたい。
質問 17	情報制御や個人情報の管理はどうするのか。市民の情報を正しく民主的に管理できるのか。
質問 18	個人情報漏洩が起きないようにするための方法はどうあるべきと考えているか。
要望 37	個人情報流出するリスクについて前例をあげて説明されなければならない。流出した場合の責任の所在、損害賠償についてあらかじめ明らかにすべきである。
要望 38	情報漏えいなどのセキュリティ対策をしっかり明記すべきでは。対人による窓口の市民の相談などサービスの低下につながるのではないかと。市民の不安をもっと吸い上げる必要があると思う。
質問 19	セキュリティ関連技術は日々進化しているため、対策は万全ということはあるかないかというのが常識だが、情報をもらした時企業には罰則や賠償を求めることはあるのか？
質問 20	個人情報の保護、詐欺などのリスクをどう考えているか。
質問 21	市民の個人情報漏洩問題が起きた場合、どうするのか。

【市の考え方】 その他

デジタル・スマートシティの推進にあたっては、国（総務省）が策定した「スマートシティセキュリティガイドライン」に準拠し、取組を推進してまいります。

また、市が保有する個人情報につきましては、浜松市個人情報保護条例に基づき対応してまいります。

要望 39	私はこのような街に住みたくない。新聞、ネット等で毎日のように情報漏洩が報じられている。このような国で、情報を一元化して管理される、しかもその情報が企業にわたってしまうなどということは到底承服できない。直ちにこの事業を中止してほしい。
要望 40	行政の個人情報などがビッグデータにされ、利潤の対象とされるのは問題である。ビッグデータの分析により経済的な価値が生まれて利潤になることにより、企業が参入する。参入企業への支払いは税金になるため、実際は、市民・公共財からの搾取となる。

【市の考え方】その他

ご意見として承ります。

要望 41	<p>セキュリティ面を含めた情報管理に、絶対安全はあり得ない。これまで、例えば医療分野と交通分野等はそれぞれ独立していることで、個人特有の情報が守られているが、それが統合されることで一つの綻びから全ての個人の情報が流出してしまう恐れは否めない。また、多くの情報一元化を進めるからには、個人の交通データ・購入履歴・医療履歴など、それこそ多岐にわたり収集され、しかもその情報が民間会社の管理の下に置かれるとなれば、情報管理の安全性を担保できないことは明らかである。</p> <p>スマートシティ構想とは、ただデジタル化して便利になることではないはずである。交通・教育・福祉・医療などに力を注ぎ、そこに住まう市民が「ここに暮らしてよかったね」と思える「シティ」構想こそを望む。単純にデジタル化すれば解決するものではないと考える。そこに暮らす市民の抱える不安に答えることができない限り、安易な見切り発車はすべきではない。</p> <p>コロナ禍に多くの市民が「自助・共助」で対処することを執拗に求められ、自治体や国の「公助」が圧倒的に足りない中、それを振り切って事業を進めることはやめていただきたい。</p>
------------------	--

【市の考え方】その他

ご意見として承ります。

要望 42	職員と市民がお互いを尊重する関係づくりをデジタルの助けを得て進めることが最も大切である。このような関係づくりは、プライバシーに関わり、膨大な個人情報を扱う部分である。したがって、双方が安心して関係性を維持するには、プライバシーの扱いをチェックするシステムを構築する必要があると考える。AI の助けを得ながら第3者的なチェックシステムが必要だろう。そして、尊重しながら希望と情報を交換できる関係性をつくる場が、デジタルによって数多く実現できることを望む。
------------------	--

【市の考え方】 今後の参考

今後のデジタル・スマートシティ推進に向けて、ご意見として承ります。

要望 43	「設計や実証実験の段階から、透明性の確保」とあるが、具体的にどのように透明性を確保するのかについて教えてほしい。また、浜松市デジタル・スマートシティ官民連携プラットフォームが設立され、運営委員会も開かれている。その資料は市のホームページにアップされているが、意見公開などの会議録もホームページにアップするべきだと思う。
------------------	---

【市の考え方】 今後の参考

各事業については、出前講座や、個別のプロジェクトを進めていく中で、市民の皆様へ丁寧に説明しご意見を伺ってまいります。浜松市デジタル・スマートシティ官民連携プラットフォーム運営委員会の運用に関しては、今後のデジタル・スマートシティ推進に向けて、ご意見として承ります。

質問 22	3大携帯会社（ドコモ、KDDI、ソフトバンク）の電波状況について、中山間地域での調査は行っているのか。私が住んでいるところではソフトバンクによる通話は難しい状況である。各会社に対して浜松市が状況の改善について働きかける必要があるのではないか。
------------------	---

【市の考え方】 その他

携帯電話のサービスエリア整備に関しては、毎年度3大携帯会社（ドコモ、KDDI、ソフトバンク）のサービスエリア外の地域確認や現地調査を行っており、調査結果は携帯電話のサービスエリア外地域の解消を所管する総務省東海総合通信局へ報告しております。

要望 44	<p>自然災害などによって起こる可能性がある「トラブルによる障害が生じても最低限の都市機能を維持し、」とあるが、2018年の台風24号による影響で天竜区では1週間近く停電が発生した。デジタル・スマートシティにとって停電は最も避けるべきトラブルである。中山間地域のこのような長期にわたる停電を防ぐ最も有効な手段が、計画伐採であるとされている。天竜区での市長と語る会でも鈴木康友市長が進めると明言したにも関わらず、その後計画伐採の推進については宙に浮いたままになっている。これはどういう事か。長期に渡る停電の可能性を残したままデジタル・スマートシティ化が進んだとしたら、さらに被害が拡大する事になる。今回の構想を進めるのであれば、同時に計画伐採も早急に進めるべきだと思う。</p>
------------------	--

【市の考え方】 今後の参考

今後のデジタル・スマートシティ推進に向けて、ご意見として承ります。計画伐採につきましては、静岡県、県西部地域の市町、中部電力などで組織する「予防伐採推進連絡会」において効果的な計画伐採について協議を行っております。

質問 23	<p>安全・安心/強靱性の項目で自然災害やパンデミック、サイバー脅威、その他トラブルによる障害が生じても最低限の都市機能を維持とあるが、この最低限はどのような状態のことを示しているのか教えていただきたい。</p> <p>デジタル活用において電力は必須であり、情報伝達においては双方向がデジタル機器などを使用できる環境下にする必要がある。2018年10月の台風で停電となり復旧までかなりの時間を要していたが対策はどのようなになっているのか確認をする必要がある。</p>
------------------	---

【市の考え方】 その他

災害やトラブル等のレベルにより、最低限とするレベルが異なると考えております。自然災害における災害レベル毎の想定されるリスクや対策等は、浜松市国土強靱化地域計画に位置付けておりますので、同計画にも記載のある”バックアップシステムの確保等により、代替性・多重性等を確保する必要がある”という考えに基づき、対応してまいります。

要望 45	<p>災害時にはデジタル系は果てしなく弱い。デジタルに頼りすぎることは非常に危険ではないか。</p>
------------------	--

【市の考え方】 今後の参考

デジタルは、人々の社会活動や都市運営をサポートする「ツール」として活用していきます。災害時においても、全てをデジタルに移行していくのではなく、アナログとデジタルのそれぞれの良さを生かし、取組を進めてまいります。

要望 46	災害時のことが曖昧。電気がストップし、電子決済ができず、携帯が つながらず、公衆電話がほとんどない都市が、このままデジタル化した らどうなるのか。
------------------	---

【市の考え方】 今後の参考

自然災害における災害レベル毎の想定されるリスクや対策等は、浜松市国土強靱化地域計画に位置付けておりますので、同計画にも記載のある”バックアップシステムの確保等により、代替性・多重性等を確保する必要がある”という考えに基づき、対応してまいります。

IV 推進体制とエコシステム/ロードマップ（2件）

質問 24	国土縮図型都市とはどういった都市のことか。
------------------	-----------------------

【市の考え方】 その他

東京大学名誉教授の大西隆氏が提唱されたもので、海、川、湖、山などの豊かな自然環境に恵まれ、沿岸部や都市部、中山間地域の多様性を有する浜松市域を、「国土縮図型都市」と呼称しています。

要望 47	2044年が終期となっているが、長すぎないか。短くする予定はないか。
------------------	------------------------------------

【市の考え方】 今後の参考

本市の最上位計画である浜松市総合計画に合わせて終期を設定しております。その中で、2020年度から2024年度までの5年間で第一期として設定し、重点的に推進する取組を位置付けております

V 第一期（2020年度～2024年度）における重点分野の設定（8件）

要望 48	「浜松の強みを唯一無二のものに」の中に産業（ものづくり・農林業）とあるが、浜松市はホンダやヤマハ、スズキなど自動車産業もさかんであるのでこちらも載せてほしい。
------------------	---

【市の考え方】 盛り込み済

浜松の代表的な産業である自動車産業も含め、「ものづくり」と表現しております。

質問 25	「ウィズコロナ」とあるが、リモートワークくらいしかコロナ対策になってないのでは。
------------------	--

【市の考え方】 その他

今年度は、テイクアウト紹介サイトや飲食店の情報と配送事業者を結びつける「フードデリバリープラットフォームの構築」や、市内の店舗等の混雑状況をWebやアプリでリアルタイムに確認することができる「混雑ランプ」システムの実証実験を実施しました。

また、感染者と同一時間帯に店舗等を利用した方へお知らせする「はままつLINEコロナ見守りシステム」の運用や、窓口に出向かなくても住民票の写しを取得できる「LINEを活用した住民票のオンライン請求実証実験」なども行いました。

今後も新型コロナウイルス感染拡大対策に寄与する取組を行ってまいります。

質問 26	アジャイル型ということで、5年間の計画はあるが、その後は漠然としたものなのか。 環境変化が多い時代で難しいとは思いますが、青写真などあるのか。
------------------	--

【市の考え方】 その他

「デジタル」という変化のスピードが速い分野の構想となるため、まずは最初の5年を第一期と位置づけ、重点的に推進する分野や取組を位置付けました。第二期につきましては、5年後の状況を踏まえ策定してまいります。

質問 27	具体的にはどの分野の何から始めようと考えているか。
------------------	---------------------------

【市の考え方】 その他

「Ⅴ 第一期（2020年度～2024年度）における重点分野の設定」に掲げる通り、2020年度から2024年度までの5年を第一期として設定し、重点的に推進する取組を位置付けております。

要望 49	これだけの項目をブレイクダウンするのは難しいが、何年先にどのくらいを目指すのかなどのビジョンを示して頂けるとわかりやすい。
要望 50	構想全体が抽象的であり、全体として、キャッチコピーを並べたように見える。内容をかみ砕いて、具体的に説明してほしい。
要望 51	解説版に各取組の具体的な説明を書いてほしい。
要望 52	カラーできれいに作られたパンフレットは、まるで子どもがイメージした「未来の街」の図のようである。どこにも具体的な内容が無く、イメージ優先のきれいごとが並んでいるだけのものである。浜松市の名前をどこか他の場所の地名に変えても通用するようなパンフレットで意見を募るとするのは無理がある。これではどう変わるのか、市民には理解できない。

【市の考え方】今後の参考

本構想は、デジタル・スマートシティを推進する上での方向性を示すものであります。

2020年度から2024年度までの5年間を第一期として設定し、重点的に推進する取組を位置付けております。いつまでに何をするのかについては、個別の事業の推進において対応してまいります。

また、具体的な事業につきましては、出前講座などで市民の皆様へ丁寧に説明をしてまいります。

V-1 重点分野【第一期：2020年度～2024年度】（6件）

質問 28	中小零細業者はITなどの導入は難しい。導入できても活用はもっと難しい。そこまで考えているのか。
----------	---

【市の考え方】その他

「浜松地域中小ものづくり企業IoT化推進協議会」では、市内のものづくり企業を対象に、ソフトベンダーなどのマッチングやIoT化を促進する事業の一部補助、IoT活用事例セミナーの開催等を行っております。今後も、中小企業の生産性向上や新たな産業の創出に向け、IT・IoT等の導入および活用支援を行ってまいります。

要望 53	今農業の分野では、後継者がいないこと、新規就農者の少ないことが問題となっている。農業従事者は高齢者が大半を占めており、体力的なことや機械の故障を理由にやめていく人が多い。デジタル化を進めるにあたっては、システムや機械はあるが実情にそぐわないということが起こらないよう、実態を踏まえて効果が出るようにしていただきたい。
------------------	--

【市の考え方】盛り込み済

産業（ものづくり・農林業）分野においては、構想の第一期の重点取組分野の中で、「スマート農林業の推進」を位置付けております。

本市における農業の課題解決に向け、今年度設立された「浜松スマート農業推進協議会」とも連携をしながら、農業従事者に寄り添った取組を進めてまいります。

要望 54	製造業の中で、自動車は今後ガソリンから電気が変わっていく。中小企業の生産性向上に向けて支援をしていただきたい。
------------------	---

要望 55	「浜松の強みを唯一無二のものに」産業において浜松には山・川・湖があり、景観の良い土地柄であることから企業などの誘致を積極的に行い、市全体を活性化させ活力ある街としていくことをお願いしたい。
------------------	--

【市の考え方】盛り込み済

産業（ものづくり・農林業）分野においては、構想の第一期の重点取組分野の中で、「中小企業の生産性向上に向けた支援」や、「ベンチャー企業等の誘致」等を位置付けております。

質問 29	デジタル技術ですべて解決するわけではない。特に伝統芸能の継承は天竜区では重要である。その点をどの様に考えているか。
------------------	---

【市の考え方】その他

天竜区内では、多くの無形民俗文化財が存在し、伝統芸能の保存継承への支援はとても重要であると考えております。現在は、大学と連携した継承活動等についての支援などを継続して行っているほか、令和3年度策定予定の「浜松市文化財保存活用地域計画」においても、次代の担い手育成や、無形民俗文化財に触れるイベントの開催などを計画しています。デジタル技術については、伝統芸能の映像記録の充実などの継承の補完や、新たな魅力の発信など、事業運営をサポートする「ツール」として活用してまいります。

要望 56	中心市街地については、コロナの影響を受けている。飲食店では、宅配を活用しているところもある一方で、来訪者数をどのように回復させるか考えなければならないが、デジタルを活用できないか
------------------	---

【市の考え方】 今後の参考

混雑の見える化により3密を避けた安全・安心な外出を支援するため、市内の店舗・施設等の混雑状況が、Web やアプリでリアルタイムに確認することができる「混雑ランプ」システムを試験的に導入する実証実験を実施しています。

また、キャッシュレス決済を活用したキャンペーンなども実施いたしました。引き続き、デジタルの特徴を活かした取組を推進してまいります。

V-2 重点分野【第一期：2020年度～2024年度】（30件）

要望 57	<p>「リモートワーク・多拠点居住」の「テレワークパーク構想の推進」について、コロナ禍で全国的にキャンピングカーの販売が好調となっている。その中でキャンピングカーを移動可能な宿とするだけでなく、リモートワークの書斎として活用している人も増えている。また、旅行しながらリモートで仕事を行うワーケーションも注目されている。</p> <p>景色も良く観光スポットや温泉もある浜名湖周辺に、RVステーションを複数整備し駐車場と外部電源供給やWi-Fiによるインターネット接続などのサービスを提供(有料)することで、キャンピングカーで旅行する人や旅行しながらリモートワークもこなす人に浜松に滞在してもらおうというのはいかがでしょうか。</p>
要望 58	<p>コロナ禍によりNew Normal として在宅勤務を推奨する企業が増えている。これにより自宅では集中できる環境ではなく、業務効率が低下するといったことも考えられることから、テレワークパークの促進や浜松の景観を生かしたコワーキングスペースの誘致など進めたい。</p>

【市の考え方】 盛り込み済

現在実証実験を行っているテレワークパーク構想の実装を目指すとともに、本市の自然環境を生かしたワーケーションを積極的に誘致していきます。

提案 2	<p>「見守り・災害対応」の「避難所の効果的な3密対策」について、大規模災害が発生したとき、3密対策よりももっとデジタル化すべき事項が沢山あるのではないかと。避難所の運営において、多くの情報は流動的であるため、多くの書類は定期的に更新しなくてはならない。避難所状況報告書は毎日最新の避難所の情報を集積して区本部に報告しなければならない。避難者名簿においても、連日避難者の入所/退所があり、そのたびに名簿を更新することは手作業では困難である。「避難所における効果的運営支援」を追加することを検討してはどうか。</p>
-----------------	---

【市の考え方】 今後の参考

今後のデジタル・スマートシティ推進に向けて、ご意見として承ります。

要望 59	天竜区は自然災害が多発するエリアであり、過去においても152号や地域の林道なども何回も機能停止している。地域の安全・安心のため、デジタル技術を遺憾なく発揮できる設備などを早急に導入してほしい。災害を発生させない、または発生してもすぐに情報が得られる技術の導入などをお願いしたい。急傾斜地も多いので、面的な予算を確保した上での対応もお願いしたい。
------------------	--

【市の考え方】 今後の参考

斜面崩壊、地すべりなどの事象により、道路の安全確保が必要と判断した場合には、センサーを活用した法面の状態の監視など、デジタル技術を活用した効果的な対策について研究してまいります。

質問 30	コロナ禍ではオンライン授業を考えているか。授業用の端末が揃っていない家庭には市の援助があるのか。
------------------	--

【市の考え方】 その他

コロナ禍においては、必要に応じてオンラインによる授業の配信も検討しています。現在、「GIGAスクール構想」の実現に向けて、小・中学校の児童・生徒に対し、1人1台の端末配備に取り組んでいますが、端末の家庭への持ち帰りにつきましては、今後検討してまいります。

要望 60	コロナ禍の中、子どもたちにとって少人数学級がいかに大切か報道されていた。タブレット端末を渡して、リモート学習を推進することも大事かもしれないが、まずは少人数学級の実現、教室への早急なエアコン整備等やるべきことが沢山ある。
------------------	--

【市の考え方】 その他

ご意見として承ります。

要望 61	ペーパーレス社会を推進して、PC・タブレットを持たせて、小中学生の教科書を廃止し、各家庭にタブレット端末を貸与して、市民にデジタル化に慣れてもらうことから始めてはどうかと考える。
------------------	---

【市の考え方】 今後の参考

「GIGAスクール構想」の実現に向けて、各学校の児童・生徒に対し、1人1台の端末整備に向け取り組んでいます。各家庭へのタブレット端末の貸与につきましては、ご意見として承ります。

要望 62	教育にタブレットなどを取り入れることで、発達障害の児童など多様な子供たちに対応できると思う一方、かえって一律的な教育に向かっていくという懸念もある。GIGAスクール構想には、教育者だけでなく様々な専門家も加わって進めてほしい。
------------------	---

【市の考え方】 今後の参考

今後のデジタル・スマートシティ推進に向けて、ご意見として承ります。

質問 31	<p>コロナ禍においてはオンライン授業も必要と思われるが、一方そのことによる児童、生徒への身体的(肉体・心)な負担の増(視力低下・運動不足・友達とのコミュニケーション不足 等)が既に発生していると思われる。このようなことにたいする支援、対策はどのように考えているのか。</p>
要望 63	<p>子どもたちに一人1台のパソコンを与えて授業をするようだが、電磁波の害が心配である。年齢が低いほどパソコンではなく、実際の物に五感でふれ、体験することが大切である。Wi-Fi を使う際はスイッチをつけて、使わない時はスイッチを切ってほしい。できれば今まで通り、有線で使うパソコン教室の使用がよいのではないかと思う。</p>
要望 64	<p>デジタル活用には、ネット依存などデメリットの部分もある。特に神経が発達途上の子どもに対する悪影響が大きいので、そういったリスクを最小限にする方策も考えてほしい。</p>
要望 65	<p>GIGA スクール構想におけるルール作りをしてほしい。今や、乳児の段階からスマホに触れる時代になっていると思うが、電磁波や「スマホ」の存在そのものを発達段階の子どもたちに「依存」の状態に陥らせる被害、リスクがあるものとの認識がある。デジタル化は、24時間365日休みなくデータ収集・分析の繰り返りで、これに従事する人間の雇用へも多大なる健康被害を与えるが、深刻なのは脳が発達している子供たちに使わせることのデメリットである。ICT教育が進んできていると思うが、これを使うには使う時間と空間を制限し、ルールを作ることが大事ある。デジタルによる健康被害はEUの「予防原則」を手本に最も配慮しなければならない課題である。特に「5G」の健康被害として「脳腫瘍との関係」が欧米の科学者たちから警告されている。子どもたちを実験台にしないでほしい。</p>

【市の考え方】 今後の参考

ICT教育の推進にあたっては、「タブレットを使用するときは、正しい姿勢で、画面に近づきすぎないように気を付ける」「30分に一度は画面から目を離して、ときどき目を休ませる」などを、ルールとして設けております。今後も、子どもたちの成長や発達等に配慮した取組を行ってまいります。また、5Gを含む電波の安全性に関しては、国の基準に則り対応してまいります。

質問 32	構想を進めるにあたって多額の予算が必要だと思うが、デジタル化が進むことにより人件費が削減できると思う。経費削減が目的の構想なのか。
要望 66	デジタル・ガバメントが述べられているが、行政職員の業務処理の削減＝人員整理ではなく、ゆとりある働き方が可能になったり、創造性豊かなまちづくりを可能にするためであることを明確にしてほしい。
要望 67	デジタル万能・効率化優先志向のため、行政の市民サービスの基本は、生きた人による人のための行為であるという視点が欠落している。職員削減優先は必ず禍根を残す。
要望 68	どんなにデジタルで情報が集約されようと、実際に市民サービスの力になるのは人である。事故・災害等、不足の事態を考慮し職員を減らすことのないようにすべきである。 省力化・効率化で職員を減らした結果、今のコロナ禍を招いていることを教訓とすべき。
要望 69	スーパーシティ推進者は、デジタル化により職員が減り、市町村を越えて行政化が進み団体自治が終わるとしている。このような考え方は、地方自治体による個人情報管理、自治体職員による福祉労働、地方自治での主権者の活動を見ようとししないものであり、地方自治を破壊することにつながる危険な発想である。
要望 70	デジタル化しても、エッセンシャルワーカーや災害対策などには人の存在は欠かせない。デジタルを活用すれば何でもできるというわけではないと思う。デジタル化して職員を削減するのではなく深い仕事をしていただきたい。

【市の考え方】 その他

本構想では、「市民 QoL の向上」と「都市の最適化」をデジタル・スマートシティの基本理念として掲げています。ご意見のように、デジタルの活用には効率化などの側面もありますが、基本理念にもとづき取組を推進していくことが、本構想の方針となります。

要望 71	アナログ重視の精神を持ち、デジタルも利用した行政サービスを行うべき。
----------	------------------------------------

【市の考え方】 今後の参考

今後のデジタル・スマートシティ推進に向けて、ご意見として承ります。

要望 72	マイナンバーカードでさえ情報漏洩が続いているが、市においてもそのような場合誰がどう責任をとり、損害はどう保障されるのか明示されるべき。
要望 73	マイナンバーカードにすべての個人情報紐づけされれば、わずかな利便性を得るかわりに、個人情報が丸裸にされる恐れがあり大変不安である。どんなにセキュリティ対策をしても万全ではない。日本は特にセキュリティがゆるく、犯罪に使われる。それをなぜ今急に進めようとするのか理解できない。
要望 74	今後、マイナンバーカードで個人データ全てに紐付けられるのではないかと心配している。デジタル先進国では、個人情報やデータ保護を確実にする規制やルールの制定、監視・監督機関の設置が進んでいるが、日本はとても遅れている。デジタル化を進めるなら、個人情報保護法の見直し、事業者の個人情報漏洩事実の消費者への通知義務、十分な被害救済の仕組みの整備、情報の自己決定権などをしっかり保障するなどを確立すべきである。浜松市も情報の透明化についてうたっているが、どのようにしていくのか分からない。安全な保障のない状況下で、個人情報を官民で共有することが良いのかも疑問である。「浜松市デジタル・スマートシティ構想」自体、多くの市民が分かっていないと思う中で、余りに拙速に事を運ぶべきではない。市民にはもう少し時間を掛けて、個人情報をどう保護していくのかも含めてわかりやすく説明してほしい。
要望 75	マイナンバーカードに何でも紐づけする国の計画に、浜松市は率先して協力し、マイナンバーカードの推進を進めているが、その人の全てのデータがカードに入力されるとなると、プライバシーがなくなる。一度でもブラックな行動が記載されたら、たとえそれが間違いだったとしても消すことができず、その人にとってはやり返しのできない人生になる。このようなことまで想像し、マイナンバーカードの強力な推進はやめてほしい。

【市の考え方】 今後の参考

マイナンバーカードは、対面及びオンラインの各種手続きにおいて、本人であることを確認するために利用されるものであり、マイナンバーカード本体には、税や年金などプライバシー性の高い個人情報が記録されることはありません。また、利用には暗証番号等の認証が必要であるなど、他人が悪用できないように様々な安全対策が施されています。

個人情報の利用にあたっては、本人の同意を得ることを大前提とするほか、透明性の確保や個人情報・プライバシーの保護に配慮して取り組んでいきます。

質問 33	今現在のマイナンバーカードの取得率はどれくらいか。また 2024 年までにどれくらいの目標値を目指すのか。
------------------	---

【市の考え方】 その他

本市におけるマイナンバーカードの交付率は、令和 3 年 2 月 1 日時点で 22.6%となっております。

国では、2022 年度末までに、ほぼ全ての国民にマイナンバーカードが行き渡ることを目標としています。

本市といたしましても、官民連携してマイナンバーカードの普及や利便性の向上を図ってまいります。

質問 34	マイナンバーカードで活用できるサービスもあると思うが、どのようなサービスがあるのか。
------------------	--

【市の考え方】 その他

令和 3 年 3 月からマイナンバーカードの保険証利用が開始するほか、将来的には運転免許証利用も可能となる予定です。

今後は、庁内における「マイナンバーカード利便性向上及び交付推進プロジェクトチーム」や、官民連携の「マイナンバーカードの利活用促進部会」で検討しながら、マイナンバーカードによる安全・安心な本人確認に基づく、官民双方のサービスにおける利便性向上を目指してまいります。

質問 35	住民票オンライン請求などの新形態と旧形態が平行で動いていると、市政運営が煩雑になるのではないか。
------------------	--

【市の考え方】 その他

利便性向上のため行政手続きのオンライン化を進める一方で、スマートフォン等で手続きを行うことが難しい方もおりますので、引き続き窓口での手続きも対応してまいります。こうした中で、申請だけでなく、その後の事務手続きも効率化が図られるよう、市民の利便性向上と業務の効率化を両輪として進めてまいります。

要望 76	国が推進している『マイナンバー制度』と紐付けされ、市民・国民が常に監視される社会になる事が考えられ心配が増す。
------------------	---

【市の考え方】 今後の参考

マイナンバー制度は、情報を 1 か所に集めて管理する仕組みではなく、今までと同じように各団体等が分散して管理を行うため、情報が芋づる式で漏れることはありません。

また、不正なアクセスが行われないように、第三者機関の「個人情報保護委員会」が監視・監督しています。

要望 77	新型コロナウイルスのワクチン接種における、マイナンバーカードとの紐付けが心配である。
------------------	--

【市の考え方】 今後の参考

新型コロナワクチンの接種記録とマイナンバーとの紐付けについては、国の動向に注視してまいります。

要望 78	住民票や市県民税の納税証明書のデータは市で管理しているはずである。しかし、市役所での手続きの際に、手数料を支払って書類の添付が必要となる。そのような制度を無くすような努力をしていただきたい。また、転入した場合、現在は様々な課に行き手続きしなければならない。これをデジタル化し、転出届を出した時点でデータが転入先の自治体に行き、引っ越し先では何も手続きしなくていいシステムにすることは可能だと思う。そして、最終的に職員の削減に繋がり、持続可能な地方自治体になっていくと思う。
------------------	--

【市の考え方】 今後の参考

各種証明書等の提出が必要な行政手続きについては、これまでも当該証明書等が本当に必要なのかを検討し対応してまいりました。引き続きよりよい手続きの在り方を検討してまいります。

また、本市は以前から総合窓口システムを構築し、多くの手続きをワンストップで対応できるようにしております。今後は、デジタルを活用し、オンラインで自宅にいながら完結できる手続きを増やすなど、利便性の向上と市役所の生産性向上を図ってまいります。

要望 79	<p>行政は一人ひとりに寄り添いサポートする体制が必要であり、市民は自分の人生を評価する機会を持ち、それを発信することが必要だろう。デジタルはそれを可能にするかもしれないと期待している。例えば、窓口に行くたびに違う職員が対応するので同じ説明を何度もしたり、事情を良くくみ取ってもらえなかったりすると、信頼関係を築くことができない。これをオンラインでの対応をベースにして時間予約で同じ職員と話せるようにしてはどうか。電話や窓口対応の音声文字化して文脈をAIで判断しリアルタイムで関連する制度を紹介・表示するシステムはどうか。</p> <p>同じ人と時間を共有し正確な知識や情報を交換できることは個人的な信頼関係はもとより行政への信頼関係を強めることになる。行政だけにサービスを求めるのではなく、市民も対応時間の順守や事前に内容をリストアップするなど双方努力して実現できれば良いのではないか。</p>
------------------	--

【市の考え方】 今後の参考

今後のデジタル・スマートシティ推進に向けて、ご意見として承ります。

V-3 重点分野【第一期：2020年度～2024年度】（9件）

質問 36	フードデリバリーについて、これに行政が関与するのはなぜか。事故で責任の所在が問われた時、非常に問題があるので、行政は関与すべきではないと考える。
------------------	--

【市の考え方】 その他

浜松市では、新型コロナウイルス感染症により影響を受けている市内の飲食店を支援するため、既存のテイクアウト紹介サイトや飲食店の情報と宅配事業者を結びつける、市独自のデリバリープラットフォームを構築しております。

運営は民間の foodelix 協議会が行っており、市は飲食店や配送事業者調整の支援を行っています。

要望 80	高齢者はスマホを所有していない人、PCを使えない人が多い。ネットスーパーなど使えると便利だと思うので、高齢者に向けたデジタル化に踏み込んでほしい。
要望 81	自分が持っているスマホ・パソコンでさえ、何をしたいかわからないという段階である。それぞれの持っている機器を持参し、具体的に使用できるようになる講座をお願いしたい。
要望 82	シニア向けスマートフォン講座について、以前市に聞いたときは民間任せだった。今回は期待している。

【市の考え方】 今後の参考

来年度から、官民連携プラットフォームの会員企業と連携し、スマートフォン等のお出かけ講座（講師派遣）の開催を予定しています。

質問 37	シニア向けスマートフォン講座はいつから開催されるのか。
------------------	-----------------------------

【市の考え方】 その他

来年度から実施予定です。開催時期等の詳細につきましては、決まりましたら HP 等でご案内いたします。

質問 38	シニア向けスマートフォン講座は、高齢者向けのスマートフォンでも受講可能か。
------------------	---------------------------------------

【市の考え方】 その他

高齢者向けのスマートフォンをお持ちの方も、受講可能です。

要望 83	「社会参加促進」では「シニア向けスマホ講座等」という言葉のみが明記されているが、「デジタルでつながる未来のキーワード」では「社会とつながる（高齢者や障がい者、外国人、女性等の・・・）」で示されている。（シニアだけでない多様な人々）向けのスマホ講座等は用意されないのか。
------------------	--

【市の考え方】盛り込み済

多様性や包摂性の基本原則のもとで、様々な方の社会参加を支える取組を推進してまいります。スマホ講座につきましては、高齢者以外の方も参加できるものを想定しております。

質問 39	インフラ老朽化に対するデジタル・スマートシティの具体策はどうなっているか。
------------------	---------------------------------------

【市の考え方】その他

「Ⅴ 第一期（2020年度～2024年度）における重点分野の設定」に掲げるインフラ分野の取り組みとして、ドローンやセンサー等の活用によるインフラの老朽化対策、点群データなどインフラ情報のデジタル化、都市のデジタル化推進におけるインフラの利活用や高度化の検討を進めてまいります。

要望 84	デジタルの力で持続的・包摂的社会を構築の再生可能エネルギーの件だが、浜松市は日当たりがよいなど、エネルギーを再生するにはとても条件がよい。蓄電池の導入をすすめ、災害時に備える取り組みをしてほしい。
------------------	--

【市の考え方】今後の参考

市では、エネルギーに対する不安のない強靱で低炭素な社会「エネルギー・スマートシティ」の実現を目指しています。その取り組みの柱として再エネの拡大とスマート化を掲げており、市民の方や事業者に向け蓄電池などの創・省・蓄エネ設備導入に対する補助支援や、公共施設への同設備の導入を順次実施しています。今後も、引き続き推進してまいります。

Ⅴ-4 重点分野と推進基盤構築【第一期：2020年度～2024年度】（17件）

要望 85	官民連携プラットフォームでの諸決定の効力と市議会との関わりについて、明確にされていない。地方自治の基本は住民自治であり、すべてに市民が同等の権利を持っているはずである。
------------------	--

【市の考え方】今後の参考

今後のデジタル・スマートシティ推進に向けて、ご意見として承ります。

質問 40	情報は、状態を把握するための一つ的手段に過ぎないように思う。情報は現実の改変に一定の方向性を見出す手段であっても、ハード面の技術が伴ってこそ実現するものとする。そのための人づくり、育成についてはどう考えているか。
------------------	--

【市の考え方】 その他

DX 推進を担う人材の確保や育成に取り組んでまいります。

要望 86	「ORI-Project の推進」とあるが、用語の解説の中に「ORI-Project」 「Hamamatsu Open Regional Innovation Project の略称。ORI と織(おり)をかけ、遠州織物をはじめとした繊維の街・浜松で、糸を紡ぐように官民が連携し新たなイノベーションを起こすことを目指す。」を追加した方がよい。
------------------	---

【市の考え方】 案の修正

ご意見を踏まえ、構想案を以下のとおり修正しました。

《修正内容》VI 用語の説明に「ORI-Project」の説明を以下のとおり追加。

「Hamamatsu Open Regional Innovation Project の略称。ORI と織(おり)をかけ、遠州織物をはじめとした繊維の街・浜松で、糸を紡ぐように官民が連携し新たなイノベーションを起こすことを目指す。」

質問 41	光ファイバ網の整備について、天竜区はとても遅れているが、その後の状況はどうか。
------------------	---

【市の考え方】 その他

民設民営方式による整備を行い、令和4年3月末までの工事完了とその後のサービス提供を予定しています。

要望 87	地域間格差を生まないように、インフラ整備についても、中山間地、過疎地に重点を置いた基盤整備を進めてほしい。
------------------	---

【市の考え方】 今後の参考

今後のデジタル・スマートシティ推進に向けて、ご意見として承ります。

要望 88	5G アンテナ設置を反対する。私は4年前より、医師による電磁波過敏症の診断をされている。現在、スマホやWi-Fiの電磁波に苦しんでいる。住宅街は電磁波が多く出ており苦しいため、2年前より電磁波の影響が少ない自然界の多い地区に移転した。4Gでも苦しいのに5Gになったら社会生活ができなくなる。電磁波の有害性は世界で社会問題になっていますので、浜松市で5Gを促進するのはやめてもらいたい。
要望 89	デジタル化により、基地局が張り巡らされ町中に有害な電磁波が飛び交うことになる。今でさえスマホをはじめとして、家庭電化製品、等から発せられている電磁波により、健康被害が多々発生している。特に子どもたちの発達の及ぼす被害は深刻な問題を呈してきている。デジタル・スマートシティ構想には反対する。
要望 90	5Gで使用される技術は、安全性が立証されていない。5Gにより、発達障害などの増加や生態系へのダメージが起きると指摘されている。世界でも5Gの導入を中止した国や地域がある。また、電磁波過敏症の人が市内にもいる。基地局を設置するには、土地の所有者の許可だけでなく、電磁波の影響のある近隣住民にも設置前に確認を取ることが必要なのではないかと。 電磁波問題は、実際には存在しないもののような扱いになってしまっている気がするが、現に沢山の健康被害の報告があるのが事実である。5G導入が安全なものであるかどうか、今一度ご検討頂きたい。学校へのWi-Fi導入についても、子どもたちへの影響が心配である。5Gを導入する場合は、基地局を設置する近隣住民にも事前に知らせ、ぜひ、許可を取ってから建設して頂きたい。電磁波過敏症の方や電磁波及び5Gに対し不安がある人は、私が知っている限りでも市内にも沢山のいる。そのような人たちに、どうか断る余地をいただきたい。そして、幼稚園や学校・病院等の付近への基地局建設はやめて頂きたい。
要望 91	電磁波の体への影響も心配である。
要望 92	構想には5G通信が必要不可欠だが、5G基地局から出る電磁波については健康問題も懸念されている。ヨーロッパでは、この電磁波の問題から5Gには慎重な街も出ている。
質問 42	5Gは非常に危うくきわどいものと聞いている。GAFAへの防衛策はあるか。

【市の考え方】 今後の参考

5Gなどのアンテナ設置を含む電波の利用や監視などについては、国（総務省）の所管となり、この地域の相談窓口は、総務省東海総合通信局となります。5Gを含む電波の安全性に関しては、国の基準に則り対応してまいります。

要望 93	これだけのデジタル網を広い面積で敷こうとすれば、その機器や基地局への投資は莫大な金額になる。コロナや人口減少で税収入が落ちている浜松市にとってはかなりの負担になるのではないか。その為に、一般サービスや福祉予算が削られるようなことがあってはならない。
------------------	--

【市の考え方】 今後の参考

今後のデジタル・スマートシティ推進に向けて、ご意見として承ります。

質問 43	区役所等の公共施設に Wi-Fi の環境を増やし整える予定はあるか。
質問 44	リモート会議は Wi-Fi がないとできない。整備状況の調査はしているのか。
要望 94	Wi-Fi 設置されている自宅外の公共施設（身近な協働センターなど）の一覧や Wi-Fi 設置に取り組んでほしい
要望 95	公共設備の Wi-Fi 整備についての計画を教えてください

【市の考え方】 今後の参考

ウィズコロナ、ポストコロナにおける市民団体等の活動環境を整えるため、地域住民にとって身近な施設である協働センターや核となる音楽ホールへのインターネット環境の整備を検討いたします。

質問 45	通信機器等を誰でも使えるようにということであれば、インフラの整備が基本ではないかと考える。構想に関わるインフラの整備について、担当する部署と関連して進めていくのか。
------------------	--

【市の考え方】 その他

光ファイバ網や Wi-Fi 整備については、担当部局や携帯電話の事業者とも連携しながら取組を推進してまいります。

VI 用語の説明（11件）

提案 3	カタカナ用語が多くて、解読するのに用語集と行ったり来たりであった。もう少し、こなれた訳語を使ったり注釈を同じページに載せるなど、わかりやすさに配慮してほしい。
提案 4	用語解説は用語の近くを書いてほしい。
要望 96	用語解説が59もある。このような説明書でどれだけの市民が理解できるというのか。浜松市民への説明文書として採用すべき質を備えていない。市民に対し、分かりやすく説明するという姿勢がみられない。
要望 97	用語の解説がなければ内容の理解が出来ないような構想（案）を、よしとしている市の姿勢に疑問を持つ。これは業界向けのプレゼン資料ではないはずである。用語の解説を見ると、カタカナ言葉の多くを日本語の説明に置き換える事は可能であると感じた。そういう努力を浜松市はしたのか。これはあくまで行政用として、市民向けにはもっと分かりやすい案を作成すべきだと思う。
要望 98	横文字が多すぎて読みにくく概要が伝わりづらい。
要望 99	構想の中では難しい用語等も出てくるが、すべてを知ろうとするのではなく有効なものを利用しよう、というような説明をしていけばわかりやすいと思う。
要望 100	いい取組であることはわかるが、横文字ばかりで理解しにくいのが非常に残念である。わかりやすい言葉を使ってほしい。
要望 101	後ろの注釈を読まないとわからない。
要望 102	高齢者にとっては用語が難しいと感じた。
要望 103	高齢者にはカタカナ用語が多く、用語解説も字が小さくて見づらい。外国籍の市民や障害者に対して、一文が長くわかりやすい日本語で書かれていない為、理解する前に、読むのをやめてしまう可能性がある。多様性をうたう構想案であるならば、考慮してほしい。
要望 104	聞きなれない用語ばかりで、解説があっても頭に入っていない。

【市の考え方】案の修正

構想の性質上、先端的技術を活用したものになるため、専門用語などが多くなっています。伝わりにくい用語等については、構想の中で説明を掲載するとともに、出前講座などで市民の皆様へ丁寧に説明をしております。

また、ご意見を踏まえ、説明が必要な用語については、可能な限り本文中の用語の付近に説明を掲載するよう構想案を修正いたしました。

《修正内容》「VI 用語の説明」を修正

(修正前)

説明が必要な用語について、「VI 用語の説明」にまとめて記載。

(修正後)

可能な限り①用語の直後に () 書きで説明を記載、②本文中の用語の付近に説明を記載し、「VI 用語の説明」に掲載する用語を最少限にした。

その他 (57件)

要望 105	脱プラ、プラリサイクルを進めるための回収システムこそ、デジタル情報を駆使して始めなければならない。資源循環型社会の構築のための地方からの発信と貢献が求められている。その観点を構想に盛り込んでほしい。
-----------	---

【市の考え方】盛り込み済

「V-3 重点分野【第一期：2020年度～2024年度】」において、エネルギー・循環型社会の分野で「サーキュラーエコノミー（製品と資源の価値を可能な限り長く保全・維持し、廃棄物の発生を最小化した循環経済）の推進」等に取り組むことを掲げております。

要望 106	気候危機の時代、温暖化を食い止めるためのあらゆる手段が必要だが、そういった視点からのデジタル・スマートシティ構想が必要ではないか。
-----------	---

【市の考え方】今後の参考

今後のデジタル・スマートシティ推進に向けて、ご意見として承ります。

要望 107	浜松市の行政のデジタル化はどうなるのか。具体的には区協議会の中継を検討すべきだと思う。
-----------	---

【市の考え方】今後の参考

今後のデジタル・スマートシティ推進に向けて、ご意見として承ります。

要望 108	個人情報保護や福祉の増進に努めるべき。
-------------------	---------------------

【市の考え方】 今後の参考

今後のデジタル・スマートシティ推進に向けて、ご意見として承ります。

要望 109	浜松市が取り組む政策課題の優先順位の一つは「コロナウイルス感染症対策」、二番は「カーボン・ニュートラル（地球温暖化防止対策とエネルギーの自給率を上げる事）」であると考えている。
-------------------	--

【市の考え方】 今後の参考

今後のデジタル・スマートシティ推進に向けて、ご意見として承ります。

要望 110	認知症の方の徘徊対策や、高齢者の現金を使わない買い物などにおいて、デジタル化で支援ができないか考えている。
-------------------	---

【市の考え方】 今後の参考

今後のデジタル・スマートシティ推進に向けて、ご意見として承ります。

要望 111	障がい者や高齢者に関する事項が増えており大変ありがたい。繋がる未来の概観に、具体的に「高齢者や障がい者、外国人、女性、誰もがデジタル技術に支えられ、社会と繋がり、それぞれの力を発揮」とあり、基本原則の多様性のところにも書かれており、その実現のためにも、障がい者がデジタルデバイスを使いこなす練習もしくはその知識や技術を持っていなくても繋がる環境が必要である。そのためにも障がい者のICT支援事業に予算をつけていただきたい。
-------------------	---

【市の考え方】 今後の参考

今後のデジタル・スマートシティ推進に向けて、ご意見として承ります。

要望 112	デジタルで繋がる未来の概観は 10 年前に私が描いた世界そのものです。今すぐ決定して欲しい。障がい者のテレワークを今すぐ(1日4時間が限界)進めてほしい。インフラについては8年前も言った通り修理延命ではなくて第二次ベビーブーム世代が現役時代に取り換える事を要望する。構想策定の背景も全く問題は無し。今すぐ浜松市全体でやって欲しい。
-------------------	---

【市の考え方】 今後の参考

今後のデジタル・スマートシティ推進に向けて、ご意見として承ります。

要望 113	浜松市がデジタルファースト宣言をしてから、浜松市の施設や人が対応されていると思えない。少なくとも、全施設 Wi-Fi 環境を整え、全職員が Zoom 等について答えられるぐらい知識レベルをあげてほしい。人材育成が実はいちばん重要ではないか。それは、知識だけではなく、対応なども含まれる。「やってあげる」ではなく、「一緒に育っていきましょう」と、関わる人全てがなっていくような意識改革プログラムも必要であるため、その点もより具体的に表記してほしい。
-------------------	---

【市の考え方】盛り込み済

公共施設の通信環境整備や DX 推進を担う人材の育成に取り組んでまいります。

要望 114	「デジタルファースト宣言」の「ファースト」に違和感を覚える。そこから零れ落ちるものが多すぎるからである。トランプ前大統領の「アメリカファースト」を思い出す。拙速を戒め思考停止を警戒し、あれもこれも様々なかつ慎重で濃やかな配慮を求める。
-------------------	---

【市の考え方】今後の参考

ご意見として承ります。

要望 115	「視点2」として、「デジタル化を市民に強いたり、技術やソリューションありきでなく…」と書かれており、デジタルの問題点を表している理解したが、例えばこの分野で頻出している「都市の最適化」という言葉は、経費や業務処理の削減を目的として商業化や効率化、合理化を推進する動きであり、浜松が行った「デジタルファースト宣言」に含まれるファーストという本来の意味と合わせて、市民福祉の本質から乖離する恐れがある。
-------------------	---

【市の考え方】今後の参考

ご意見として承ります。

質問 46	この事業を浜松市が独自で運営できるわけではないと思うが、どんな企業が運営するのか、情報管理は出来るのか。契約のたたき台はあるのか。その情報公開はするのか。
------------------	---

【市の考え方】その他

各事業の推進にあたっては、行政と企業等が連携しながら取り組んでまいります。運営する特定の企業はございません。情報管理、契約、情報公開については、条例等に従って適切に実施してまいります。

要望 116	近年、浜松市はコンサル企業へ依頼して報告書を記す、あるいはコンサル企業の社員を「フェロー」として採用し、事業を進めている。コンサル会社の意向を受けての事業案などを見ると、プレゼン資料がそのまま説明資料として公開され論文として示されておらず、論理的に思考して理解を進めることができない。コンサル企業への依存は問題である。
-------------------	---

【市の考え方】 今後の参考

今後のデジタル・スマートシティ推進に向けて、ご意見として承ります。

要望 117	浜松市がスマートシティを目指していることをしっかり伝えてることが大切である。それにより、地域は頑張っているというように思われるため、地域に伝えながら進めてほしい。
要望 118	今、『浜松市デジタル・スマートシティ構想』政策を推進する事には不安がある。役所の一番の業務は市民の安全安心を守ることである。事業推進には大多数の市民が理解出来るまで、さらなる説明が必要であるため、慎重な事業の推進をしてほしい。
要望 119	主権者である市民に対しては、丁寧に分かりやすく説明し、意見を求めるべき。
質問 47	都市づくりにおいては市民の主体性や合理性が大事だと思われるが、市民の声はどのように反映されるのか。 市民の方々に広く伝える手法は検討されているのか。次世代を担う世代の声も反映させてはどうか。
質問 48	構想を実現するにあたって、市民との共創を掲げているが、市民に情報提供を行う機会はどのようなものを考えているか。

【市の考え方】 今後の参考

デジタル・スマートシティの推進にあたっては、様々な機会をつくり、市民の皆様へ説明を続けることが大切だと考えております。今後は、出前講座や、個別のプロジェクトを進めていく中で、市民の皆様へ説明を丁寧にまいります。また、説明の際は、IT用語等を別の言い方に置き換えながら伝える工夫をまいります。

若い世代のまちづくりへの参加についても、現地に出向いたり SNS を活用したりしながら積極的に声掛けを行ってまいります。

要望 120	<p>既に浜松市はスマホを活用できる人を対象にキャンペーン(税金投入)を行っているが、恩恵を受ける市民はごく少数である。このような実態があるにもかかわらず拙速に「デジタル・スマートシティ推進」に前のめりなのが理解できない。市民が行政になにを要求しているのか若者から高齢者まで聞いてみていただきたい。デジタル・スマートシティ推進などという市民からの要求は出ていないか、出ていても少数ではないか。まして、カタカナ文字が多い構想である。それだけでも市民が理解するまでにかかなりの時間が必要だろう。このようなことを浜松市が本気で市民の理解と納得を得て実施しようとするのならそれなりの時間をかけた取り組みは欠かせない。実態はそのようになっていないと考える。</p>
-------------------	---

【市の考え方】 今後の参考

デジタル・スマートシティの推進にあたっては、様々な機会をつくり、市民の皆様へ説明を続けることが大切だと考えております。出前講座や、個別のプロジェクトを進めていく中で、市民の皆様へ丁寧に説明しご意見を伺いながら、市民起点のまちづくりを推進してまいります。

要望 121	<p>人が主役であり、デジタルはただの手段にすぎない。区の再編問題のように、時間をかけ議論を積み重ねていくのが、「まちづくり、ひとづくり」で「つながる未来」の最も「市民目線」に立ったやり方である。経済効率が優先の「官民共創」ではなく、今こそ若者や女性が「住み続けられるまち」のため、市内全域に分散した「市民の声」をとり入れる集会を施策していただきたい。また、市民の代表である議会の関与が必須である。</p>
-------------------	---

【市の考え方】 今後の参考

今後のデジタル・スマートシティ推進に向けて、ご意見として承ります。

要望 122	<p>浜松市が進めようとしている「スーパーシティ構想」に反対である。個人情報や企業に売り渡すことに同意できない。企業と自治体に監視されるのも断る。これにより、ますます自治体の職員を減らすつもりか。</p>
要望 123	<p>国が進める「スーパーシティ特区」の指定を目指しての構想について、危惧している。</p> <p>官民連携プラットフォームには市民の個人情報が大量に集まるが、特区になるとその情報を民間企業がしかるべき理由をつけて、利活用できることが大変危険である。企業の最優先は儲け・利潤である。そのため市民の情報が使われる恐れがあり、大きなリスクを負わされることになる。</p> <p>個人情報の流出・漏洩はよく起こっており取り返しがつかない。マイナンバーに関する漏洩・流出で自治体がらみのものも多くあるなどの危ない状況で、コロナ禍で不安もある今、それを逆手にとってやることか。</p> <p>浜松市では個人情報保護についても国のやることに任せると聞いた。デジタル化で、市民の暮らしが良い方向に向かうことは否定しないが、それなら拙速に進めず、市民の安全を考えて進めてほしいと思う。</p>

要望 124	ビッグデータが収集され、それが政府の情報基盤へ集約されると、地方統治の強化や情報監視の強化が進んでいる。マイナンバー制度導入もその一つであり、個人情報への管理強化を進めようとしている。特区への応募は今すぐ撤回すべき。
要望 125	浜松市デジタル・スマートシティ構想は、国が進めているスーパーシティ構想とほとんど同じで、4月以降に区域指定される前段階の準備のように思える。スーパーシティに指定されると、私たちの個人情報が私たちの事前承認がないまま企業に使われ、企業は仕事がやり易くなるだろう。しかし、私たちの個人情報は私たち一人ひとりのものである。今まで通り自治体の個人情報は自治体で管理して、そこから出さないでほしい。たくさんデータを集めて一元管理すると、情報が漏れた時のリスクはとて大きくすることも心配である。民間企業がデータを管理するようになると、その企業が有利になるような使われ方がされるのではないかと心配である。
要望 126	推進の核となる組織は浜松市役所の職員が中心ではなく、専門的な企業が運営の中心になるだろうと考える。行政が持つデータ（個人情報等）が企業に流れないというセキュリティ対策は大丈夫なのか。デジタルは目では見ることはできない。個人の情報が守られるのか大きな問題である。国の「スーパーシティ」指定を目指すことには賛成できない。
要望 127	浜松市が、議会での審議なしに「スーパーシティ構想」を進めていることに怖さを感じる。政府は中国の杭州市をモデルにしているとのことだが、超監視社会により個人のあらゆる情報が把握され、自治体が企業の求めに応じて提供していくことになる。 少し便利になっても個人情報が守られない社会は必要ない。
要望 128	「スーパーシティ法」で「超監視社会」になっていくのは反対。個人情報のセキュリティ対策や漏洩、不正使用も不安でいっぱいである。浜松市の「スーパーシティ構想」推進には反対。「特区」への応募は見送ってほしい。

【市の考え方】 その他

スーパーシティにおいても、個人情報保護法や浜松市個人情報保護条例に基づき、個人情報を適切に取り扱ってまいります。

質問 49	スマートシティにすると、マイナンバーに家族構成、保険証、免許証、通帳、行動履歴、後に学校の成績票も結びつくと思われる。大きな個人情報を民間企業が扱うことになるため、情報漏洩がとて心配である。 現在、日本では9才以下の子供が行方不明になる人数が増えており、スーパーシティになり民間企業が全てのデータを持ち、家族構成等が流出した場合に、更に被害者が増える事と思われる。自分の個人情報を浜松市に提供したく無い場合は、提供を拒否できるのか。
----------	---

【市の考え方】 その他

スーパーシティにおいても、個人情報は、個人情報保護法や浜松市個人情報保護条例に基づき、適切に取り扱ってまいります。また、市の各種手続きにおける個人情報の提供に関しては、各手続きの法律や条例に基づき対応してまいります。

要望 129	<p>浜松市が掲げる「デジタル・スマートシティ浜松」は、物流、医療、教育などあらゆる分野で先端技術を組み合わせる国家戦略特区の都市づくりにつながるもので認めることはできない。浜松市は計画の「3つの戦略」に「自治体の生産性」を掲げているが、自治体は企業ではない。住民目線の行政姿勢を貫いてほしい。</p> <p>IT・デジタルでは、人の心は表現できない。人のぬくもりを感じる、町、都市づくりを考えてほしい。</p>
-------------------	--

【市の考え方】 その他

デジタル・スマートシティの推進にあたっては、デジタル活用はあくまで市民QoL向上や地域課題解決の手段と捉え、市民起点のまちづくりを推進してまいります。

要望 130	<p>浜松市が進めようとしている「スーパーシティ構想」に反対する。市民はロボットではなく人間である。AIではなく人を大切にする市政を願っている。</p>
-------------------	--

【市の考え方】 その他

スーパーシティにおいても、デジタル・スマートシティ浜松と同様に、デジタルを活用して市民QoL向上や地域課題解決を目指すもので、市民起点のまちづくりを推進してまいります。

要望 131	<p>そもそも、地方自治は地域住民のニーズ・意思によって行われるものであるが、掲げられているデジタル・スマートシティ構想は、国のニーズによる発起である。内閣府・国家戦略特区の構想は、具体性に欠けシステムメリットもデメリットも具体的に見えてこない。それは、地域住民のニーズ、要望から生まれた物では無いからである。また、参入する法人・民間企業についても、コロナ・持続化給付金の中抜きと同様に国の対応に不信感を抱いている。</p>
-------------------	--

【市の考え方】 その他

ご意見として承ります。

要望 132	<p>浜松市は国のスーパーシティ型国家戦略特区域に手をあげている。社会はデジタル化されていくかもしれないが、高齢化社会は続いていく。</p> <p>企業戦略についていけない人は多いと思われるし、便利になっても個人情報丸裸にされる恐れを感じる。</p> <p>自治体だけでなく、企業が参入することが心配である。自治体は、各分野を守る要ではないか。</p> <p>今は、北遠から中心まで安全安心に過ごせるようマンパワーに力を入れてほしい。</p> <p>色々な案を下から出してもらったらどうか。市町村が合併し大きくなった浜松がどこも豊かに発展できるデジタル社会の見本を募集してほしい。</p>
------------------	--

【市の考え方】 今後の参考

デジタル・スマートシティの推進にあたっては、様々な機会をつくり、市民の皆様へ説明を続けることが大切だと考えております。出前講座や、個別のプロジェクトを進めていく中で、市民の皆様へ丁寧に説明しご意見を賜りながら、市民起点のまちづくりを推進してまいります。

スーパーシティにおいても、個人情報保護法や浜松市個人情報保護条例に基づき、個人情報を適切に取り扱ってまいります。

要望 133	<p>浜松市はデジタル・スマートシティ構想と浜松版 MaaS 構想を拙速に進めてはならない。スーパーシティ型国家戦略特別区域指定への応募は撤回すべき。</p>
------------------	---

【市の考え方】 その他

ご意見として承ります。

質問 50	<p>中国のスマートシティでは、市内に人口の2倍のカメラが設置されていると聞いた。人口80万人の浜松市では、何台の監視カメラを設置する予定か。</p> <p>また、その監視カメラの設置費用、維持費はいくらぐらいになる予定か。</p>
-----------------	--

【市の考え方】 その他

現段階で、デジタル・スマートシティの一環として、監視のためのカメラ設置による取組の想定はございません。

質問 51	<p>スーパーシティになりマイナンバーを作っていない人は、介護保険を利用する事はできないのか。</p>
-----------------	---

【市の考え方】 その他

そのようなことはございません。

要望 134	<p>スーパーシティにする場合には、住民合意が取れないと進められないと書いてあるが、住民合意を取る前に各地区の公民館等を回り住民説明会を開いてほしい。住民合意をあいまいに密室で取り、強行にスーパーシティ構想を進めても、マイナンバーを取得する人が少なければ、スーパーシティ構想にかけたお金がムダになるかと思う。内閣府には、2050年までに住民全員をマイナンバーで管理してしっかり納税してもらおうという国民を奴隷の様に扱うムーンショット計画がある。スーパーシティ構想は、この計画と似ている。大好きな浜松市に奴隷としてではなく、市民として住みたいと思っている。</p>
-------------------	---

【市の考え方】 その他

ご意見として承ります。

要望 135	<p>市のやろうとしている事に関心持っている市民は、少ないようである。本当は、住民が主体的に参加していくような体制を作って、行政まかせにしない事が大事だと思う。</p> <p>しかし、今の状態では、なかなか市の方も、市民の意見や意向もすいあげられない。</p> <p>スーパーシティ/スマートシティシンポジウムは、ずいぶん前から実施計画があったのだと思うが、浜松市として取り組んでいく大きな計画のため、報道発表やYouTube ライブ配信の宣伝も、もっと前からすべきである。また、広報はままつの2月号に「スーパーシティ事業計画への意見募集」が載っていたが、意見を募集するなら広報で先に内容の詳細を知らせ、十分な時間・期間をとった方が良かった。同じ部分に、「ホームページ」検索とありましたが、何も掲載もない。浜松市の公式ホームページに、もっとわかりやすく掲載すべきではないか。そのあたりの基本的な事がおろそかで、市民に伝えたいという意気込みがあまり感じられない。報道発表やYouTube ライブ配信の宣伝も、もっと前からすべきである。</p>
-------------------	--

【市の考え方】 その他

デジタル・スマートシティの推進にあたっては、様々な機会をつくり、市民の皆様へ説明を続けることが大切だと考えております。今後も、市民の皆様をはじめ多様な主体の方にご参画いただけるよう、各事業の周知方法等を検討してまいります。

質問 52	スマートシティとスーパーシティの関連が分からない。市民にとってどのようなことが起きるのか。
要望 136	国の「改正戦略特区法」のスーパーシティ構想に応募する意向を明らかにしながら、「浜松市デジタル・スマートシティ構想」と「スーパーシティ構想との関係について、浜松市は全く明らかにしていない。浜松市は秘密主義を改め、すべての情報を明らかにして、市民に丁寧に説明し拙速にデジタル化を進めるべきではない。
要望 137	国のスーパーシティと、浜松市のデジタル・スマートシティ構想の関係が、よく分からない。国のスーパーシティは、十分な審議のないままの成立で、多くの問題があると思う。応募をやめていただきたい。

【市の考え方】その他

デジタル・スマートシティ構想は、浜松市においてデジタルの力を活用し、「市民QoLの向上」と「都市の最適化」を目指していくための指針となるものです。一方、国のスーパーシティ構想は、交通・医療などの複数分野を横断するデータの連携基盤を構築して先端的なサービスを提供し、サービスを実現する際に問題となる規制を「国家戦略特区」制度により地域限定で緩和するものです。

浜松市は、国の「スーパーシティ型国家戦略特別区域の指定に関する公募」へ応募し、これまで取り組んできたデジタル・スマートシティのさらなる推進につなげていきたいと考えております。

デジタル・スマートシティの推進にあたっては、様々な機会をつくり、市民の皆様へ説明を続けることが大切だと考えております。今後は、出前講座や、個別のプロジェクトを進めていく中で、市民の皆様へ説明を丁寧にしてまいります。

要望 138	<p>国のアイデア公募への応募をしておきながら、応募内容についていまだに不開示であり、デジタル・スマートシティ構想と密接な関係のあるスーパーシティ構想に関し、特区指定への応募を目指す方針を明らかにしながらその内容も市民に周知されないままこのパブコメがある。この構想案には59項目もの用語解説がついているが、なぜ誰にでも分かる日本語で説明できないのか。</p> <p>何とか市民に分かってもらおうという市の姿勢が全く感じられないため、市政への不信感が一層大きくなっている。</p>
-----------	---

【市の考え方】その他

構想の性質上、先端的技術を活用したものになるため、専門用語などが多くなっています。伝わりにくい用語等については、構想の中で説明を掲載するとともに、出前講座などで市民の皆様へ丁寧に説明をしてまいります。

質問 53	この構想のゴールは何か。
------------------	--------------

【市の考え方】 その他

本構想では、具体的なゴールは定めていません。時代とともに変化していくニーズに柔軟に対応しながら、取組を継続していきます。

質問 54	山間部も含めた構想なのか。
------------------	---------------

【市の考え方】 その他

本構想は、中山間地域も含めた市域全体を対象とする構想です。

質問 55	これは誰のために作った構想なのか。市民であるとするならば、どんな市民を意識しているのか。
------------------	--

【市の考え方】 その他

本構想は、全ての市民の方を対象とした構想です。

要望 139	メリットばかり書いてあるが、デメリットが全く書いていないのはおかしい。必ずあるデメリットを併記してこそ市民に訴えるものになるはずでは。
-------------------	---

要望 140	全体を見て、デジタルのメリットだけを示し、バラ色の解決策だという印象を受けた。デメリットも分析した上で指針を出す必要を感じる。デジタルディバイド、ブラックボックス問題、雇用減少などいろいろあるといわれている。
-------------------	--

【市の考え方】 盛り込み済

本構想では、デジタルにはメリット・デメリットがあることを前提とした上で、地域課題の解決やより良い暮らしを目指すためのツールの1つとして、デジタルを活用していくことを掲げております。

要望 141	全体像を示しただけで、どのように進めていくのかの詳細が全く記述されていない。デジタル関連の事案では地域、年齢によってかなり受取手に差が出てしまう。その辺をどのように解消・理解して進めるのか、ここが一番のポイントであり、大切な部分だと思う。市側は「中山間地域も大切にします」と言っているが、以前同報無線が廃止されたときも、詳しく説明も無く一枚の紙が回覧板で回ってきただけで、地域の高齢者には全く詳細が説明されないままであった。結果、高齢者はよく分からないままにスマホを購入し、これまた使い方が分からずに右往左往するという事態になった。こんな不親切な対応しか出来ない市が「デジタル・スマートシティ構想」と言いだしても、不安しか感じない。
-------------------	--

【市の考え方】 今後の参考

本構想は、デジタル・スマートシティを推進する上での方向性を示すものであります。2020年度から2024年度までの5年間で第一期として設定し、重点的に推進する取組を位置付けている中で、具体的な事業につきましては、出前講座などで市民の皆様へ丁寧に説明をしております。

また、市内の地域ごとに特徴のある課題の解決手段として、デジタル技術を活用するとともに、全ての年齢の方が暮らしやすい社会となるよう、デジタルとアナログを組み合わせながら取組を推進してまいります。

要望 142	デジタル化よりも、リアルな住民同士の「未来の浜松は どうしたいのか？」という議論の場が何よりも求められている。オンラインシンポジウムの中で「今はにぎわいは後回し」という表現があったが、それではいつまで経っても公共空間に人びとの声が響き合う「都市」になれない。
-------------------	---

【市の考え方】 その他

ご意見として承ります。

要望 143	事業推進の前に、政令、条例等に基づいて、デジタル化の応用範囲を規定するルールを定めて、罰則も規定し、ルールを設定する事は必須条件である。
-------------------	--

【市の考え方】 今後の参考

今後のデジタル・スマートシティ推進に向けて、ご意見として承ります。

要望 144	計画ができた後に実行していくのは人であるため、人材の確保が必要である。上司等の指示で動くのではなく、やる気のあるメンバーを集めるなど、浜松市ならではの積極的な取り組みに期待したい。
-------------------	--

【市の考え方】 今後の参考

今後のデジタル・スマートシティ推進に向けて、ご意見として承ります。

要望 145	デジタル・スマートシティ推進本部、浜松市 SDGs 推進プラットフォーム、企画課などの横断的な連携の中心を、デジタル・スマートシティ推進事業本部が担い、市民への情報発信をしてほしい。 浜松市役所一丸となってこの構想を進めて、人生 100 年時代を迎えるにあたり、健康寿命日本一をもっと推進してほしい。
------------------	---

【市の考え方】 今後の参考

デジタル・スマートシティの推進にあたりましては、デジタル・スマートシティ推進事業本部が司令塔となり、組織横断的に対応してまいります。

要望 146	官民共創を掲げるのであれば、構想案の公表先も官民合わせたらどうか。少なくとも、主婦や子ども等の行動範囲内ではない。
------------------	---

【市の考え方】 今後の参考

今後のデジタル・スマートシティ推進に向けて、ご意見として承ります。

質問 56	海外では同じような事例はあるのか？またその良かった点や失敗した点は？
-----------------	------------------------------------

【市の考え方】 その他

スペインのバルセロナでは、知識集約型の新産業とイノベーションを創出するための大規模なスマートシティプロジェクトが進行しております。例えば、車や人の動きをセンサーにより検知し、Wi-Fi を経由して空き駐車スペース情報を提供する「スマートパーキング」によって都市の渋滞緩和を実現していたり、街路灯と連動した見守りサービス、ゴミの自動収集サービスなど、様々な関連サービスを実現しています。

また、システムの故障や導入及び運用コストへの懸念が、スマートシティにおける一般的な懸念として挙げられています。

質問 57	TOYOTA が富士でスマートシティをやっている。そこに任せておけばよいのでは。しかも、そこは希望者や社員などが住むので、個人情報などプライバシーは了承済みだが、浜松市で行う場合、個人情報管理まで了承していない人に対してはどう対応するのか？嫌な任は浜松市から出て行けということか？
-----------------	--

【市の考え方】 その他

個人情報の利用にあたっては、本人の同意を得ることが大前提となります。透明性の確保や個人情報・プライバシーの保護に配慮して取り組んでいきます。

要 望 147	トヨタ自動車による富士宮市のスマートシティ計画など、同様なスマートシティ推進計画は各地で進められているため、参考には必要である。
---------------	--

【市の考え方】 今後の参考

今後のデジタル・スマートシティ推進に向けて、ご意見として承ります。

要 望 148	<p>コード・フォー・ジャパンが提唱する市民の声を「スマホ」で集めるというやり方は、行政との信頼関係があって初めて成り立つものである。「スマホ」で意見を出すことに何の違和感もない人にとっては都合が良いと思うかもしれないが、行政側からみてもたいへん「都合の良い」ツールとなっている。意見を一元管理できるからである。しかし、市民が「つながる」ということは、「つながられる」ことも意味している。どんな人間関係も、つながると「拘束される」という面が発生するということを「デジタル化」のデメリットとして、ここで良く考えるべきである。SNSの炎上など「一度発信された情報は消し去ることができない」という宿命をこの何年間で私たちは経験している。「デジタルでつながる」ことが、本当に浜松市民にとって「持続可能な都市やしあわせにつながる」のか。市民の意見を集める方法についてよく考える必要がある。それは議会や区協議会だったりパブコメだったりするが、議会では、「スーパーシティ法にすり替わろうとしている」この企画についてどのような議論がなされたのか？果たしてこのデジタル・スマートシティ構想は何パーセントの市民の理解があって決まるものなのか？5G電磁波の健康被害など多大なる市民の影響があるにも関わらず民主的な手続きを経ないままに「民間企業」が進める事業が採択されるのはとても不安である。</p>
---------------	--

【市の考え方】 今後の参考

今後のデジタル・スマートシティ推進に向けて、ご意見として承ります。

要 望 149	<p>浜松市のデジタル化は「個人対中央制御」の手法であると感じた。人間の個別化、単独化を強く感じてしまう。そもそも絆があって生きられる人間の特性から言ってあまり好ましいと思わない。便利で効率的であることよりも先に、不安を感じる。</p>
---------------	--

【市の考え方】 今後の参考

デジタルは、人々の社会活動や都市運営をサポートする「ツール」として活用してまいります。全てをデジタルに移行するのではなく、対面が困難な場合のリモートによる面会など、アナログとデジタルのそれぞれの良さを生かし、人と人の繋がりを支えてまいります。